毎日を笑顔で過ごせるように願いを込めて……　2026年11月号

竹村石材新聞



日の入りも早くなり、日毎に秋も深まってまいりました。8月号で腰を痛めた母の代わりに畑仕事をした話を書きましたが、お陰様で母はある程度の畑仕事ができるまでに回復しました。それでもまだ無理は禁物なので、孫たちに相談したところ、高2の三男が友だちに声をかけて手伝ってくれることになりました。収穫作業のほか、冬に向けて大根のために土を耕す作業など大助かりでした！ 若い子たちから元気を一杯もらって、母も大満足な一日でした。







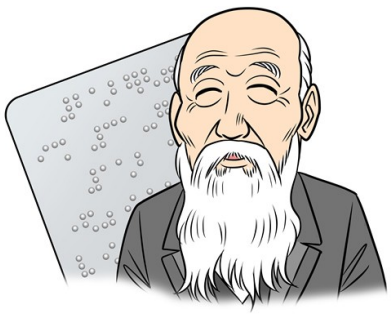
竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp

知っていますか？ 11月の記念日

●11月1日は「点字の日・日本点字制定記念日」です

日本語用の点字が決められたことにちなんで制定されました。それまでは欧米の点字を利用したローマ字綴りで表現されていたため、かな文字にあった点字として考案された案が、1890年（明治23年）のこの日に開催された日本点字選定会で正式に採用されました。

この点字を考案した石川倉次は、「日本点字の父」とも呼ばれています。



■発行者　：竹村石材株式会社
脇　田　　大　（わきだ　まさる）

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。


竹村公伸


脇田　大


竹村元成

竹村石材株式会社
TEL：076-241-0325
石川県金沢市寺町５－２－３８

※仏事クイズの答え：②　　※まちがいさがしの答え：1)トラックの位置　2)山の雪　3)屋根の木材の長さ

～お墓・仏事のミニ知識～

「十三仏（じゅうさんぶつ）」とは？



仏教の多くの宗派では、人が亡くなると初七日から始まって三十三回忌まで十三の節目に法要を行います。その際に、故人の成仏を願い、見守るとされているのが「十三仏」です。もともとは、中国で始まった「人は亡くなると7日ごとに審判を受ける」という十王信仰を受けて、日本独自の信仰として室町時代ごろに広まったとされています。初七日は不動明王、四十九日は薬師如来、三十三回忌は虚空蔵菩薩というように、それぞれの年忌ごとに異なる仏が守るとされていて、宗派によっては追善供養として掛軸を飾って故人の冥福を祈ります。「故人が無事に極楽浄土へたどり着けるように」という、残された人々の強い想いが感じられます。

神事クイズ Q&A

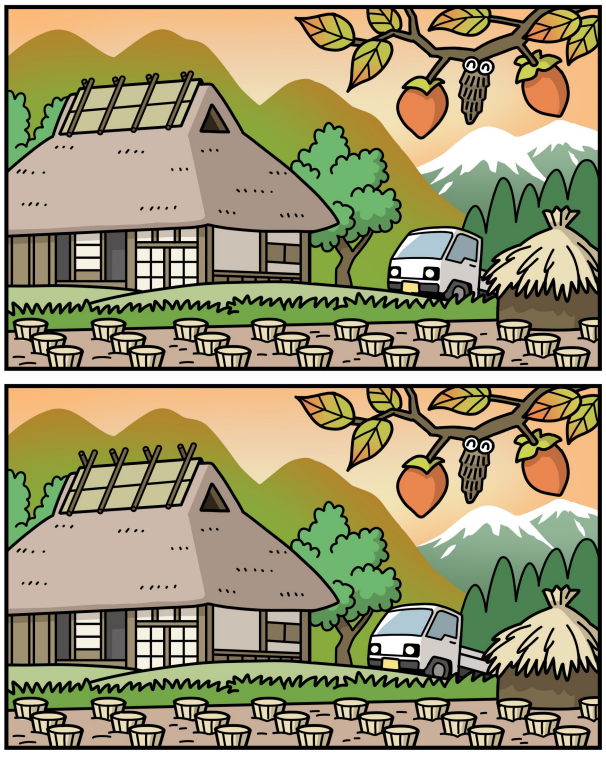
知っているようで知らない仏事のことや
言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q 京都市にある木嶋坐天照御魂神社（別名：蚕ノ社）にある珍しい鳥居は次のうちどれでしょう？

① 屋根付きの鳥居
② 柱が三本の鳥居
③ 陶器の鳥居

ヒント 真上から見ると三角形に見えます。

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。